

**特定非営利活動法人  
市民フォーラム 21・NPO センター**

**第 4 期(2002 年 4 月 1 日～2003 年 3 月 31 日)**

**事業報告**

## 2002 年度事業報告 概要

### NPO セクターにおける全体状況に果たした役割

- 1) 愛知県委託事業、日本財団助成事業を通じ、愛知県下合計 52 団体を個別指導することができ、活動の質的向上を図ることができた。
- 2) 愛知県委託事業、日本財団助成事業を通じ、NPO と行政の協働の調査を実施し、西尾市委託事業で協働のあり方を提言するなど、自治体の NPO 施策に関して、質の高い調査・提言ができた。
- 3) 有給職員雇用を積極的に進め、事業型の NPO のモデルとして一定の役割を果たした。

### ミッションから見た全体評価

- 1) 講座などによる一般論から、全国に先駆けて NPO 個別運営支援事業を本格的に始めることができた。特に事業開発支援は単なる専門家派遣や相談ではなく、事業作りに深くコミットする点で、全国に先駆けて実施している。
- 2) 調査研究事業として、東海市総合計画基礎調査および協働事業例調査を行い、NPO 活動の基盤整備のためのシンクタンク機能を果たすことが出来た。
- 3) 子ども・教育系 NPO のネットワーク: ネット CY の立ち上げコーディネイトや、NPO フェスタあいち 2003 など、地域の NPO のネットワークをつくるための貢献を果たした。
- 4) NPO プラザなごやは今年度も稼働率約 100% であり、会議室収入やパソコン収入等は減少したものの、目にみえる形で中間支援団体としての成果をあげている。
- 5) 社会的に大きな事業であるにも関わらず、地域の大きな課題となっている愛知万博の市民参加に対する検証と提言を行うことができた。

### 財政面から見た全体評価

- 1) 自治体委託収入: 3900 万、助成金収入: 700 万、自主事業収入: 1200 万、会費・寄付: 200 万となった。委託収入の比率は高いが、委託先は複数の自治体にわたっており、比較的バランスが取れた収入構成になっている。
- 2) 会費納入のお願いが遅れており、会費収入が 2000 年度 1,870,000 円に落ち込み、2001 年度 2,506,000 円まで持ち直したが、2002 年度に再び納入が遅れている。現在対策を取っているが、2002 年度決算として 1,396,000 円であり、拡大の余地と必要性がある。

### 組織体制から見た全体評価

- 1) 常勤・非常勤あわせ 10 名前後の組織となった。事務局次長・主査 3 名が事務局の基本的な意志決定をできるように、チーフ会議を設置した。引き続き、組織力を上げる途上にある。

# 特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPOセンター 2002 年度事業報告書

期間 2002 年 4 月 1 日～2003 年 3 月 31 日

## 市民フォーラム 21・NPOセンター 2002 年度活動基本方針

### 1. NPO セクターに対して：

各団体の課題に則した、より踏み込んだ、コンサルテーションを行うことで NPO セクターの質的向上を図るとともに、NPO 団体に対する総合的支援体制を作る。

### 2. 行政セクターに対して：

NPO と行政の委託のルール作りのための調査研究を継続し、委託のルールづくりを自治体に対して提案し、委託のスタンダードモデルを提案する。

自治体の NPO 政策の総合的なコンサルテーションを実施する。

### 3. 企業セクターに対して：

企業に対して、NPO を人・もの・資金でサポートするための仕組みの具体例を示す。個別企業との協働事例を積み重ねる。

### 4. 会員に対して：

会員のニーズの把握に務め、会員のニーズにあった事業の立案を進める。

### 5. 組織として：

非常勤職員含め 10 名前後が働く事業所として機能する組織体制の整備と、評価指標に基づく運営を組織内部でシステム化することを目指す。

2001 年度から準備を始めた中長期計画に関する議論を進め、2003 年度の総会をめぐりにまとめる。

## 2002 年度重点事業

### 1) NPO の組織運営に関する総合支援体制作り

#### 1-1) NPO 会計サポート事業

名古屋税理士会と協働し、個別 NPO の会計を個別指導することで、個別 NPO の会計能力の向上を図る。

#### 1-2) NPO マネジメント支援事業

個別 NPO の経営の効率化と組織運営上の課題解決を行うために、個別団体の課題に則した、コンサルテーションを行う

## 2) NPOと行政の協働のためのスタンダードモデルの提案

### 2-1) 自治体とNPOの協働に関する研究

自治体のNPOへの事業委託の実態を調査し、NPOセクターが行政セクターとの間で透明・対等・有効な協働関係を形成することに貢献することをめざす。

### 2-2) 東海市における、市民参画の手法を用いた総合計画の作成コーディネイト

市民参画の手法を用い、東海市の総合計画のための成果指標作りを行い、市民参画型社会実現のモデルケース作りを行う。

## 1. 団体の運営に関する事項

理事会と常任理事会の役割を年度当初に明確化し、日常的な経営判断を常任理事会にて行った。隔月で実施する理事会は総会で決定された活動方針に基づき、常任理事会の判断を承認し、経営の方向付けを行うというルールで運営を行った。

また、会員数の拡大に務めたが、3月末の決算時点では大幅な会員数の減少となった。継続会員を増やすための努力を改めて実施している。

### (1) 通常総会の開催

6月1日(土) NPO プラザなごや 13:00~17:00

### (2) 理事会の開催(原則として、隔月最終火曜日 PM7:00~)

第1回:5月14日/第2回:7月30日/第3回:9月24日/第4回:11月26日

第5回:1月28日/第6回:3月25日

### (3) 評議員会の開催(理事会と合同で開催)

第1回 5月14日 第2回 3月25日

### (4) 常任理事会の開催

第1回:4月5日/第2回:5月10日/第3回:6月12日/第4回:7月25日/第5回:8月20日/第6回:9月17日/第7回:10月15日/第8回:11月19日/第9回:12月17日/第10回:2003年1月21日/第11回:3月18日

## 2. 特定非営利活動に関する事項

### (1) コンサルティング・コーディネーション事業

2大重点事業の一つとして位置づけ、愛知県委託事業と日本財団助成事業であわせて52団体の団体運営の個別指導を行った。2002年度は全て外部資源を使つての支援となったが、2003年度以降は団体からも負担をしてもらつて運営をしていく予定であり、自主事業化のメドが立った。

#### 1-1) コンサルティング事業

##### 1-1-1) NPO 活動相談 (1997年度より継続)

目的：NPO活動全般の相談窓口機能を果たすとともに、NPO運営の効率化の支援を相談を通じて行う。

日時：通年

場所：NPOプラザなごやにて

内容：NPO法人格取得相談、NPO経営相談（資金開発・人材開発・ボランティア開発・理事会運営・事務局運営他）、助成金申請相談、NPOプラザなごや施設見学、組織概要に関するヒアリング等。

相談件数総数：47件（内訳、NPO：23、企業：6、行政：3、個人：15）

活動内容別件数（複数回答含む）：

設立および法人化申請：18 / 運営・マネジメント：6 / 活動・事業：8 / ボランティア：0 / 協働：2 / 情報提供：5 / 会計・税務：6 / その他：6

##### 1-1-2) NPO 個別団体運営支援事業

目的：愛知県からの受託事業及び日本財団からの助成を受け、NPOの運営基盤の確立を図るため、会計・労務・事業開発の分野について専門知識を持った人材を派遣し、団体の能力向上のための助言などの支援を行う。

会計支援：経理の基本を理解し、適正な経理事務が継続して行われる状態をつくる

労務支援：労務の基本を理解し、適正な労務事務が継続して行われる状態をつくる

事業開発支援：団体の継続的な活動・収入の柱となる事業を育て、組織の経済基盤を確立する

日時：通年（愛知県受託事業としては2002年6月より2003年3月まで）

対象：会計支援 27団体 労務支援 11団体 事業開発支援 12団体 計 52団体

内容：

#### 1. 各団体の現場、現物、現実に則した実務支援

講習、セミナー等は既に実施され、書籍も多々出版されているが、個別の団体へアドバイザーを派遣し、各団体の現場、現物、現実に則した実務支援を行う（専任アドバイザー9名及び事務局員による訪問）

#### 2. 税理士会、社労士等専門家の協力を得て実施

支援を行う中で発生した問題・課題について専門家の立場からの助言、指導および学習会を実施した。又 税理士会による個別相談等を実施した。

評価：次の効果をあげることができた。

1. 一定の具体的成果物を得ることができ、支援を受けた団体より高い評価を得た。
2. 税理士会、社労士の専門性を活かすことができた。又専門家とNPOないし市民活動を結びつけることができた。
3. アドバイザーという良い人材を得た。
4. 資料、サンプルがある程度集まった。
5. NPOないし市民活動団体に強く求められている支援であることが実感された。(事業化のメドが立った。)

## 1-2) コーディネーション事業

2 大重点事業の一つとして位置づけ、東海市において、政策マーケティング手法を用いて、まちづくり指標を設定し、現状値とめざそう値を作成した。自治体の政策立案段階からの変革を促す基盤を作ることができた。

### 1-2-1) 東海市市民参画推進事業（東海市委託事業）

目的：東海市における市民参画の推進を図る。

日時：通年

内容：市民参画推進委員会、講演会学習会等への講師の派遣及び指導、委員会等へのコーディネーターの派遣及び指導、その資料収集など。

対象：東海市民・東海市役所

規模：50名（市民委員）

実績：生活課題 38 項目、まちづくり指標 99 項目を作成

### 1-2-2) 企業による NPO 支援活動のコーディネート（2000 年度より継続）

目的：企業が NPO 活動を支援する際のプログラム作りや、プログラム実施時における広報・運営事務などを担い、企業と NPO の協働を促進することを目的とする。

日時：通年

内容：リコー中部(株)グリーンプロモーション 2002 の企画相談、NPO 向け広報、申込の評価、運営事務等を実施

対象：東海地域の NPO 支援を考える企業(リコー中部(株)および東海、北陸の地域環境保全活動団体)

規模：(応募 40 団体、助成 5 団体)

実績：応募 40 団体から 5 団体へ各 20 万円合計 100 万円の助成を実施。2003 年度も継続実施する。

### 1-2-3) 子ども・教育 NPO ネットワークコーディネート業務（2001 年度より継続）

目的：子ども・教育支援に携わる NPO の相互ネットワークをネット C Y として構築し、社会における非営利サービスとして、活動の質と量を高めるためことを目的とする。

日時：通年

対象：子どもの健全育成、教育支援などに取り組む NPO 関係者

内容：名古屋市の行革・健康福祉部・NPO の担当者を招き、名古屋市の施策に関する学習および、協働のための事業提案を行った。さらに、マーケティングプロセスの学習を行い、NPO フェスタ

あいち 2003 でその報告を行った。

実績：17 団体がネットワークに参加

#### 1-2-4) 研修、フェロー、インターンの受入及びコーディネイト

目的：当センターにおける実務を通じて、NPO の理解を促進し、受け入れた人材の育成に寄与する。

対象：愛知県研修生、高知県研修生、名古屋大学大学院生

場所：NPO プラザなごや

内容：各研修生に対して担当業務を設け、日常業務をともに行い、NPO 活動の実態をより深く理解する。

また、名古屋大学インターンについては、名古屋市内で受け入れ可能な NPO の選定とその依頼を行い、インターンのコーディネイトを行った。

実績：受入人日総数 62 人日（行政 20 人日、大学生 10 人日、大学院生 32 人日）

#### 1-2-5) 西尾市ボランティア・市民活動団体データベース作成

目的：西尾市より委託を受け、情報システムを構築することにより、市民のボランティアを始めとする NPO 活動等の社会貢献活動の促進、活性化を支援する。

日時：2002 年 7 月～2003 年 3 月

内容：ボランティア・市民活動団体及び個人の活動情報をデータベース化、WEB を通して容易に検索できる仕組みとし、ボランティアをしたい人とボランティアを欲しい人をマッチングする情報システムを構築する。（市民フォーラム 21・NPO センターと愛知市民教育ネットの協働事業）

## (2) NPO 活動拠点整備・運営事業

NPO プラザなごやは今年も一時的な入退居による若干の空白期間を除き、入居率が 100% を維持し、地域における貴重な活動拠点の提供を行うことができた。しかし、NPO プラザちた、NPO プラザさかえはいずれも利用者は低調なままである。

#### 2-1) NPO プラザなごやの運営（1999 年度より継続）

目的：名古屋駅南笹島地区において、NPO 活動の拠点を提供する。（既設）

対象：NPO・NPO 活動関係者

場所：名古屋市中村区名駅南 1-20-11（提供面積 120 坪）

内容：NPO の事務所スペースの提供、会議室の提供、印刷機・コピー機等貸し出し

目標利用者数：のべ 2000 人／月間

利用団体数：入居団体 26/27 団体/（NPO オフィス・インキュベートオフィスの入居率 96%）

開館日：日曜・祝日・お盆・年末年始を除く全ての日

開館時間：10：00～21：00（木は 18：00 まで）

（インキュベートオフィス・NPO オフィスの開館時間は自主管理とする。）

入居団体 26 団体（2003 年 3 月 31 日現在）

- NPO オフィス (6 団体)
  - 市民フォーラム 21・NPO センター
  - 名古屋 CAP (福祉住環境コーディネーター中部推進協議会とオフィスを共有)
  - 名古屋 NGO センター
  - 自立のための道具の会
  - キャンヘルプタイランド
  - ICAN (国際協力)
  
- インキュベートオフィス (14 団体)
  - 子育て支援のNPOまめっこ (子育て支援)
  - こころのネットワークあいち (アダルトチルドレン支援)
  - 世界の子供たちを貧困から守る会 (国際協力)
  - ボラみみより情報局 (ボランティア支援) 5 ブース 2002 年度より 1 ブース追加
  - ドイツ文化研究会シュテルネ (日独国際交流)
  - ネットワーク「地球村」(環境)
  - ドットジェイピー (議員インターンシップ)
  - 古材バンクの会 (環境・まちづくり)
  - 外国人医療センター (医療) 2 ブース
  - クレサラあしたの会 (クレジット破産者支援)
  - 協育NPO母りんこ (子育て)
  - エルダーネット (中高年によるまちづくり、等) 2002 年度より
  - 愛知福祉環境推進ネットワーク (福祉のまちづくり) 2002 年度より
  - MBIDDE FOUNDATION (国際協力) 2002 年度より
  
- ロッカー使用団体 (1 団体)
  - つなぐねっと (NPO コンピューター支援)
  
- レターケース使用団体 (7 団体)
  - 向日葵クラブ (福祉)
  - こども NPO (子どもの健全育成)
  - つなぐねっと (NPO コンピューター支援)
  - REVE/日本ケニア学生会議 (国際協力) 2002 年度より
  - ブリッジパソコンサポート (コンピューター支援)
  - ハートフルなごや (精神障害者支援)
  - ネット CY (子育て支援)
  
- 退去 (6 団体)
  - 中部日中友好手をつなぐ会 (人権・国際交流・福祉)
  - グループはてな (国際協力・福祉)
  - 福祉住環境コーディネーター中部推進協議会 (福祉)



つなぐねっと (NPO コンピューター支援)

環境ティージェン (環境)

名古屋オレンジの会 (引きこもり支援)

・喫茶運営 (1 団体)

喫茶ドリーム

・インターネット情事接続サービス

3,000 円/月で NPO プラザなごや入居団体に対し、常時接続回線を提供

利用団体：名古屋 NGO センター、名古屋 CAP、キャンヘルプタイランド (2002 年度より)

## 2-2) NPO プラザちたの運営 (1999 年度より継続)

目的：知多半島における NPO 活動の支援拠点として、国際協力・まちづくり活動・文化事業の拠点として運営する。

開館日：祝日・お盆・年末年始を除く全ての日

場所：知多市岡田開戸 24 (提供面積：26 坪)

内容：貸し会議室・NPO インキュベートオフィス・宿泊場所として、提供する。

対象：名古屋・知多地域の NPO 関係者、知多市岡田地区の市民

入居者：特定非営利活動法人古材バンクの会 スタッフ 1 名

貸会議室利用回数：4 回

各種主催事業実施：・市民フォーラム 21・NPO センター理事合宿 (4 月 13 日～14 日)

・伝承塾 in ちた (6 月 23 日 (日))

・管理運営委員会の開催 (5 月 19 日 (日))

## 2-3) NPO プラザさかえの運営 (2000 年度より継続)

目的：名古屋市栄地域における在住外国人支援拠点としてフィリピンマイグランドセンターの行う事業を側面支援する。

日時：通年

場所：名古屋市中区栄 4-20-11 (2 部屋：提供面積 25 坪)

内容：事務所スペースの提供と、シェルターとしての住居提供を行った。

対象：在住外国人・在住外国人支援団体他

### (3) 調査研究・政策提言事業

今年度も継続して自治体と NPO の協働に関する調査を愛知県委託事業および日本財団助成事業で実施した。全国的にも大変注目されている事業となっている。さらに、愛知万博における市民参加に関する検証と拡充のための政策提言を実施し、地域の大きな課題に対して積極的に提言を行った。

#### 3-1) 自治体と NPO の協働に関する研究 (2000 年度より継続)

○日本財団助成事業

目的：自治体と NPO の協働のあり方に関する方針・ルールを打ち出す

日時：2002 年 4 月～2003 年 6 月まで

内容：全国の NPO 法人に対する協働に関するアンケート調査

対象：全国の NPO 法人 (約 6000 団体)

○愛知県調査委託事業

日時：2002 年 7 月～2003 年 3 月

内容：愛知県内の NPO と行政の協働事業例調査

対象：愛知県内の NPO と行政 (県、市町村)

評価指標：市町村へのアンケート回収率 100%、20 の県内協働事業例 40 ヶ所にヒアリング調査実施

#### 3-2) 総合計画策定基礎調査 (東海市委託事業)

目的：東海市における総合計画策定のための基礎調査を行う

日時：通年

内容：調査の企画、基礎調査、基本構想素案の検討、基本計画素案の検討、住民アンケート等を実施する。

対象：東海市市民他

#### 3-3) NPO 税制度・公益法人制度改革のための政策提言活動 (2000 年度より継続)

目的：NPO の優遇税制度を実現するとともに、公益法人制度改革をよりよいものとする。

内容：2002 年 11 月 5 日 (火) 19:00～21:00 どうなってるの？NPO 支援税制

松原明 (シーズ事務局長)

2003 年 3 月 20 日 (木) 18:30～20:30 公益法人改革って何？～100年ぶりの大改正～

加賀山茂 (名古屋大学法学部 教授)

2003 年 3 月 26 日 (水) 18:30～20:30 公益法人改革で NPO はどう変わるのか？

田中尚輝 (NPO 事業サポートセンター常務理事)

#### 3-4) 各種委員会への委員派遣 (1999 年度より継続)

目的：NPO セクターの代表として NPO が活動しやすい環境を作るために委員として政策提言を行う

日時：随時

派遣先： 愛知県：愛知県 NPO 連絡協議会  
静岡県：静岡県 NPO 活動センターの運営等に関する研究会  
名古屋市：名古屋市男女協働参画推進会議／名古屋市市民活動促進委員会  
東海市：東海市市民参画推進委員会  
豊川市：豊川市市民活動促進懇話会

### 3-5) 西尾市市民活動団体と行政との協働のあり方策定業務

目的：西尾市における NPO と行政との協働のよりよいあり方を探る。

内容：市内 NPO 関係者・行政職員・学識経験者からなる委員会を運営し、あり方についての提言書を作成、報告した。

日時：2002 年 12 月 16 日～2003 年 3 月 20 日（5 回の委員会を実施）

### 3-6) 愛知万博 市民参加の検証と拡充のためのフォーラムの運営

目的：愛知万博の市民参加を検証し、拡充するための提言を行う。

内容：愛知万博に市民として関わった 26 名の関係者から公開でヒアリングを行い、問題点の検証と、今後の拡充に向けた提言を受け、提言書としてまとめ、博覧会協会へ提出し、博覧会協会からのメッセージを受けた。

日時：2002 年 12 月 6 日～2003 年 1 月 31 日

## (4) 情報発信事業

ニュースレター、News Bulletin を通じて、NPO に関するトピックを受発信した。また、ホームページもデザインを刷新し、インターネット上の情報発信力を向上させた。しかしながらニュースレターの発行が遅れ気味であり、また、ホームページも更新頻度等の課題が残っている。

### 4-1) ニュースレター（1997 年度より継続）

目的：会員へ NPO 基盤整備に関する情報を提供する。

時期：5 月・8 月・月・3 月 各 20 日発行

内容：特集記事・NPO 紹介・自治体の NPO 担当課紹介・活動報告他

対象：会員、関係機関、来館者ほか

部数：毎回 500 部

評価指標：発行部数・顧客満足度

記事タイトル：

2002 年 5 月号

特集：NPO の調査研究能力～社会を動かす説得力

行政の NPO 担当課に聞く：岐阜県可児市

NPO 紹介：アトピー性皮膚炎など室内環境が関係する疾患への対策研究会・名古屋  
(アトピー環境研究会)

2002 年 8 月号

特集：NPO にマーケティングを～子育て・教育 NPO 地域マーケティングの挑戦

行政の NPO 担当課に聞く：愛知県犬山市

NPO 紹介：地球人ネットワーク飛騨

2002 年

特集：あなたの組織の人間関係、うまくいっていますか？

行政の NPO 担当課に聞く：三重県津市

NPO 紹介：特定非営利活動法人ふわり

2003 年 3 月号

特集：NPO は愛知万博にどう関わるのか

NPO 紹介：特定非営利活動法人けやきフォーラム

#### **4-2) E-mail/Fax ニュース Bulletin News (1997 年度より継続)**

目的：会員の NPO 活動情報の循環と、会員へ最新の NPO 活動の情報を発信する。

日時：毎月 20 日発行

内容：イベント情報・助成財団情報・書籍紹介・事務局報告 他

対象：会員、NPO 関係者、関係機関ほか

部数：F A X：103 部、E-mail：184 部、郵送：34 部 合計 321 部

#### **4-3) NPO 向け情報化支援事業 (1997 年度より継続)**

目的：NPO が情報化を果たすために、インターネットサーバ（既設）を運営する。

日時：通年

内容：NPO5 団体（中部リサイクル運動市民の会、自立のための道具の会、ソムニードサンガム、エコリンク・全国市民オンブズマン連絡会・当センター）によるサーバの共同運営、E-mail アカウント・ホームページアドレス提供事業を行う。

ソムニードサンガム、エコリンクは 2002 年度まで

対象：東海地域の NPO 団体

実績：常時接続回線サービス提供団体数：8 団体

#### **4-4) ホームページによる情報提供事業 (1997 年度より継続)**

目的：当センターの情報公開と、活動紹介を目的とする。

日時：通年

内容：団体概要・活動報告・活動計画・事業紹介・トピック・NPO 本屋・ニュースレター・スタッフ紹介・参加方法・ボランティア募集・リンク集・NPO プラザなごや紹介

対象：全国の NPO 関係者

実績：トップページへのアクセス平均 2215 件／月

#### **4-5) 出版事業**

目的：NPO の基礎理解を進めるための A5 版のブックレットを製作、販売する。

日時：2002 年 11 月発行

内容：NPO がよく分かる本～はじめて NPO にふれる人のために

販売実績：112 冊

#### 4-6) NPO 関連書籍受託販売 (1997 年度より継続)

目的：NPO に関連する書籍の販売を行い、NPO に関する知識・ノウハウ等を提供する。

日時：通年

内容：ホームページによる販売、施設訪問者・イベント時における販売を行う

- ・ NPO 一般 3 種類
- ・ NPO 法人関連 3 種類
- ・ NPO マネジメント関連 5 種類
- ・ NPO 理事会関連 5 種類
- ・ 海外 NPO 情報 2 種類
- ・ 調査研究報告書 3 種類

合計販売冊数 386 冊

#### 4-7) NPO 活動のマスコミアピール (1997 年度より継続)

目的：NPO 活動の現状を地域情報紙にも積極的に載せることにより、社会における理解を促進する。

日時：2002 年 4 月～2002 年 8 月

内容：中部経済界への原稿執筆・取材対応

#### 4-8) アニュアルレポート

目的：市民フォーラム 21・NPO センターの活動をわかりやすくまとめ、会員及び関係諸機関に配布する。

日時：6 月

内容：2000 年度、2001 年度の事業報告をビジュアル的にまとめる。

対象：会員・自治体担当者・企業担当者

### (5) 講座・研修・イベント事業

2001 年度に実施した NPO 全国フォーラム 2001 東海会議で築いたネットワークを継承 発展させるために、NPO フェスタあいち 2003 を実施するなど、ネットワークの拡大に 務めた。また、毎月実施している NPO スクランブルサロンも会員や一般市民が気軽に 参加できる貴重な場となった。

また、NPO への理解促進のための講座研修も、行政からの委託事業を中心に、積極的に実施した。

#### 5-1) 自治体 NPO 出前講座 (1999 年度より継続)

目的：東海地域の各市町村において、NPO の基礎理解をすすめる

対象：各市町村における NPO 活動を行っている、あるいはこれから始めたいと考える一般市民。または行政職員。

内容：・ NPO 入門講座 (3 回連続) 日進市委託

日時：10 月 3 日 (木)、10 月 17 日 (木)、10 月 31 日 (木)

- ・連続講座（5回連続）名古屋市委託  
日時：10月31日（木）、11月7日（木）、11月14日（木）、11月21日（木）、12月5日（木）
- ・鳥羽市NPO基礎理解講座（NPO学習会・交流会）鳥羽市委託  
日時：11月30日（土）
- ・ボランティア・NPO基礎理解セミナー（3回連続）春日井市委託  
日時：3月1日（土）、3月8日（土）、3月15日（土）
- ・はじめてのNPO講座～立ち上げ編～（4回連続）多治見市委託  
2月25日（火）、3月4日（火）、3月11日（火）、3月18日（火）

## 5-2) NPOスクランブルサロン（2000年度より継続）

目的：会員・一般あわせ、NPOに関心をもつ者の交流を行う。

日時：毎月第四土曜日 18：30～21：00

場所：NPOプラザなごや

対象：会員・一般参加者

内容：ゲストスピーカー1名によるセッションと、その後の食事をしながらの交流会を行う。

- ・4月27日（土） 地域に根づいた企業のボランティア活動～アラコ株式会社：中日ボランティア福祉賞を受賞して～  
ゲスト：柴田透（アラコ株式会社 総務部広報・渉外室渉外グループ長） 30名
- ・5月25日（土） ゴジカラ男の生きざま～ゴジカラ村は、人生の道草を楽しむ場所です～  
ゲスト：吉田一平（ゴジカラ村代表／愛知たいよの杜施設長） 40名
- ・6月22日（土） 社会を動かす説得力とは？～「見えなかった死」から「見える死」へ・CAPNAの調査研究活動から～  
ゲスト：安藤明夫（子どもの虐待防止ネットワーク・あいち常務理事／中日新聞多治見支局長） 33名
- ・7月28日（土） 「まちとむら」都市と農村の未来～都市と農村の関係・農村の魅力に迫る～  
ゲスト：松井真理子（四日市大学総合政策学部助教授／NPO法人斐伊川流域環境ネットワーク理事／市民フォーラム21・NPOセンター理事） 22名
- ・8月24日（土） 夢実現フェアトレード会社設立～コーヒーにかける28歳の挑戦～  
ゲスト：林口宏（有限会社フェアトレーディング 取締役） 37名
- ・9月28日（土） そして地域が変わる～お稲荷さんのある街から～  
ゲスト：笠原盛泰（穂の国まちづくりネットワーク代表／株式会社ハクヨプロデュースシステム代表取締役／市民フォーラム21・NPOセンター評議員） 31名
- ・10月26日（土） 今、元助役が語る～犬山市NPO施策の理想と現実～  
ゲスト：川島典之（犬山市民活動支援センターの会専務理事／市民フォーラム21・NPOセンター常務理事） 41名
- ・11月30日（土） 企業が伸びれば、NPOが育つ！？～リコー中部株式会社 環境経営に挑む～  
ゲスト：柴垣民雄（リコー中部株式会社経営企画室CS・環境推進グループリーダー） 20名
- ・1月25日（土） 私達がNGOで働く理由

ゲスト：村山佳江（名古屋 NGO センター職員）、松岡亜湖（アジア日本相互交流センター理事・職員） 27 名

・3月29日（土） 個人の思いを活かす組織とは？～事業化する組織とボランティア精神の葛藤を越えて～

ゲスト：服部則仁（ひと・まち・未来ワーク代表／市民フォーラム 21・NPO センター評議員）  
13 名

### 5-3) NPO 理解のための講師派遣事業（1997 年度より継続）

目的：NPO、企業、行政などに NPO の基礎、NPO 法人制度、協働のあり方などに関する理解をすすめる。

内容：依頼のあった NPO・企業・行政などに適正な講師を派遣する。

対象：NPO 関係者・行政関係者・企業社会貢献担当者・学識経験者、等

日時詳細：以下の通り

#### ●自治体対象

5月11日 豊田市：「はじめてのNPO」

6月2日、30日 豊橋市：「NPOってなあに？」

2002年9月～2003年3月まで毎月第2木曜日

豊田市：NPOなんでも相談会

10月31日、11月7日、14日、21日、12月5日

名古屋市：「ボランティアからNPOへ～NPO化の実務～」

11月17日 豊川市：「魅力ある活動組織の育成に向けて」

1月17日、19日、26日 東海市：「はじめてのNPO」

2月4日 豊明市：職員研修

#### ●NPO 対象

3月20日 トヨハシ・ランバークラブ：「NPO 法人の基礎と資金調達」

9月6日 日本NPOセンター：NPO 支援センター新人研修

「自分たちで考える民間 NPO 支援センターの役割と意味」

10月5日 犬山市民活動支援センター：NPO サロン「NPO と資金」

10月7日 つくで村の図書館のこと話そう会：NPO 勉強会「NPO の運営方法、資金」

11月3日 広島NPOセンター：NPO パワーアップ・フォーラム第1分科会

「中間支援センターの役割」

#### ●その他

1月7日 岐阜県行政書士会岐阜支部：教養講演会「政権交代と小泉政権について」

4月12日 新城青年会議所：「NPO と青年会議所 ～新しい市民社会の実現を目指して」

4月23日 愛知労働者福祉協議会：NPO を支援する意味

5月12日 社全協あいち支部（社会教育あいちネット）：講演会・総会

5月17日 中村青年の家：「青年のためのNPO入門」

5月25日 日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会：社会起業家勉強会

6月12日 あいち女性総合センター：「NPO とボランティア」

6月19日 ㈱ベネッセコーポレーション：「始めてみよう！ボランティア」

7月3日 日産労連：地域社会におけるNPOの役割・NPOの現状と課題

- 7月17日 桜花学園：「NPO とボランティア」
- 8月6日 名古屋市青年税理士連盟：認定NPO法人と寄付金
- 10月21日 静岡総合研究機構：「新しいパートナーシップによる地域の創造」
- 10月22日 名古屋芸術大学：「NPO とボランティア」

#### 5-4) 環境保全人材育成講座「なごや環境塾」の実施（2000年度より継続）

目的：環境保全NPOの運営の核になる人材の育成

対象：名古屋在住在勤の環境活動を実践していく意思のある者

参加者：40名

内容：連続講座による、課題解決能力を身につけるための基礎から応用までの実践講座

日時：6月8日（土）～11月9日（土） 10：00～16：30 11回連続講座

#### 5-5) NPO フェスタあいち 2003

目的：既に構築されつつある、NPO・企業・行政のネットワークをさらに深め、より実践的な段階へと移行するための機会となることを目指す。また、名古屋における全体企画の前に、県内全体で全体企画への盛り上がりをつくることをねらいとして、尾張地域と三河地域で地域企画を開催した。

##### 【地域企画】

###### ○尾張地域

日時：2003年1月25日（土）13:00～15:00

場所：文化フォーラム春日井 2階会議室A・B

テーマ：「地域内のNPOと行政と企業の連携」、

実施団体：特定非営利活動法人けやきフォーラム、

参加者数：87名

###### ○三河地域

日時：2003年2月18日（土）13:00～16:30

場所：豊橋市民センター（カリオンビル）5階大会議室、

テーマ：「NPOネットワークの集い」

実施団体：特定非営利活動法人穂の国森づくりの会

参加者数：40名

##### 【本企画】

日時：2003年2月22日（土）10:00～17:00

場所：ウィルあいち（基調講演）、あいちNPO交流プラザ（その他）

対象：NPO・ボランティア活動に関心のある方

（NPO初心者からリーダーまで、市民・行政職員・企業人等）

参加者数：全体：483名、

基調講演：292名

NPO・ボランティア大交流会：483名

分科会：①40名、②34名、③32名、④45名

計151名

自主講座：A31名、B21名、C29名、D52名、E15名、F32名

計180名

内容：基調講演、分科会、自主講座、NPO・ボランティア大交流



#### **5-4) 市民活動団体にかかる団体運営講座の開催、及び団体運営マニュアルの作成**

目的：NPOを継続的に運営していくための組織基盤をつくるため、「事業づくり」と「組織（体制）づくり」の本質的な課題の解決を目指す。また、講座内容に基づき、団体の設立と運営に関わるマニュアルを作成。

##### **【市民活動団体運営スキルアップ講座】**

対象：市民活動団体の運営に関わる団体のリーダー及びそれに準ずる（あるいはその予定のある）方

参加者：63名

内容：2回連続講座。第1日目で「NPOの事業運営の基礎をつくる～地域ニーズから事業をデザインし、組織的に運営する～」ことを学び、第2日目で「広報」「資金」「人」に関する顕在化した悩みを解決する。

日時：第1回：11月30日（土）10:00～16:30

第2回：12月7日（土）10:00～17:10      2回連続講座

##### **【市民活動団体運営スキルアップマニュアル】**

対象：市民活動を始めよう（NPOを立ち上げよう）としている人、及び市民活動を始めたばかりの人で、「活動を継続させ、組織として成長したい」と考えている人。

内容：「活動の基盤づくり」「事業づくり」「資源調達」「組織運営」「法人化」までの流れを、57ページの冊子にまとめた。